



2017年2月22日

「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定

第一生命ホールディングス株式会社(社長渡邊光一郎、以下「当社」)は、このたび経済産業省と日本健康会議が共同で認定する第1回「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。当社は2015年の第1回「健康経営銘柄」にも選定されており、これに続く認定となります。

「健康経営優良法人～ホワイト500～」は、保険者と連携して優良な健康経営を実践している法人を顕彰することで、健康経営実践法人の拡大を図ることを目的としています。「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場企業を対象としていますが、本制度は上場企業に限らず、一定規模の法人を対象に広くその取組みを評価するものです。



当社では、健康を通じて幸せな人生・QOL(Quality of Life:生活の質)の向上を目指すという「ヘルスプロモーション」の考え方を基本に、「重症化防止」「疾病予防」「メンタルヘルス対策」を柱に会社・健康保険組合・労働組合が一体となって取組みを推進しています。

■健康増進取組の柱

重症化防止

- 定期健診・二次健診受診の徹底
- 特定保健指導による生活習慣改善の推進
- 定期健診事後措置面接の徹底

疾病予防

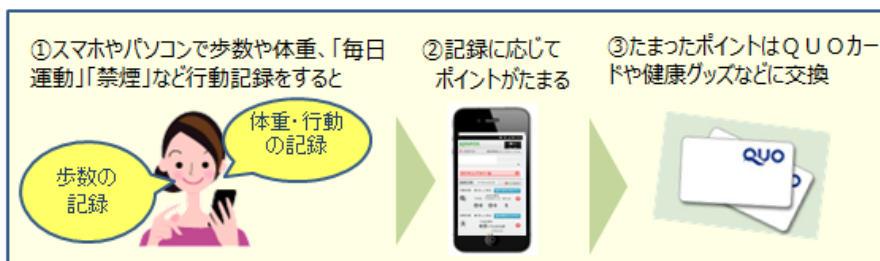
- 運動・食生活・喫煙に対する取組み
- ヘルスケアポイント制度の導入
- がん検診受診率の向上

メンタルヘルス対策

- 復職プログラムのレベルアップと定着
- メンタル教育の充実
- ストレスチェックの実施

■代表的な取組み

1. 毎年秋の一ヶ月間を「第一生命健康増進月間」と定め、全社で健康セミナーや肌年齢・体内年齢測定会等の健康増進イベントやキャンペーンを展開。
2. 2016年度からは、ウェアラブル端末やスマートフォンなどのICTを活用した取組みを開始。歩数や健康行動を記録し、健康ポイントを付与するヘルスケアポイント制度を導入。2016年10月末時点で約6,100名が同制度を活用。



3. 従業員のウォーキング大会参加支援や、社内報・イントラネットを通じた社内ランナーの情報共有、女子陸上競技部による社員向けランニングイベントの開催など、スポーツ振興を通じて健康増進の機運を高める取組みを実施。



当社の健康増進取組みの詳細は以下リンクからご参照ください。

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/employee/health.html>

今後も社員が健康で生き生きと働ける職場づくりに取り組むとともに、生命保険会社として、お客さま、地域のみなさまにより一層の安心と健康をお届けしていきます。

【参考】

＜経済産業省ニュースリリース＞

<http://www.meti.go.jp/press/2016/02/20170221008/20170221008.html>

＜当社の健康経営に関するリリース＞

http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2014_106.pdf